

2022年4月15日

丹青社、体験してみたい“みらいの空間”を自由に描くコンペティションの結果を発表 みらいの空間デザインとして新たな可能性を感じる3作品を選定

商業施設・文化施設などの空間づくりをおこなう株式会社丹青社（本社：東京都港区／代表取締役社長：高橋貴志／以下、丹青社）が開催した、バーチャル、またはリアル、あるいはその両方で「今はまだ実現しないかもしれない、でも体験してみたい」、そんな自由に思い描いたこれからの空間デザインを募集する『みらいの空間デザインコンペティション』（以下、本コンペ）の結果を発表します。

多数のご応募の中から、1次審査をおこない、最終審査会に進む最優秀賞候補を選定しました。最終審査会では、応募者による想いのこもったプレゼンテーションが実施され、厳正な審査の結果、入賞作品は以下3点に決定しました。

たくさんのご応募ありがとうございました。

■ 最優秀賞



「UNI-VERSE」

塩月 卓也、安藤 寿孝

【審査コメント】

自然環境保全をデジタル空間を通して体験し、フィジカルな空間に働きかけていくというシンプルなコンセプトとそれを伝えるビジュアル表現、デジタルでの体験をロングスパンでつないでいく独自性を評価し最優秀賞としました。

■ 優秀賞



「La Foret online _ 植物でつながるリアルとバーチャル」

シルビコットデザイン（辻村 拓也、中村 優太、辻村 彩加）

【審査コメント】

「植物が好き」という体験を核に、デジタルの世界にその楽しみを拡張してシェアするという課題に対するアプローチの明瞭さと表現の一貫性を優秀賞として評価しました。



「Small Reading Space - 小さな読書空間」

陸 暁

【審査コメント】

「本を読む楽しさ」という感情と、メタバースでの読む空間、渋谷というリアルサイトとを結び付ける空間デザインを優秀賞として評価しました。

リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社 丹青社

広報室 担当：石綿、寺戸

Tel：03-6455-8115 Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp

お問い合わせフォーム：<https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>

■ 結果発表にあたり（株式会社丹青社 デザインセンター長 高橋久弥）

今回、空間デザインのコンペティションとして、リアル×デジタル空間の融合を意識した新しいテーマを掲げ、公募させていただきました。

主催者である丹青社は「ここを動かす空間をつくりあげるため」に、多種多様な空間づくりにチャレンジしています。その領域は長きにわたり、リアル空間をベースにしてきましたが、新たにデジタルによる空間が融合し、その境界を曖昧にしながら融合と拡張をし続けています。

応募していただいた作品については、リアルとデジタルのかけ合わせのバランスは様々でしたが、手法を超えた空間体験として強い「FUN」が感じられるか？そしてみらいの空間デザインとしての可能性を感じられるか？という視点で審査を行ないました。一次審査通過作品についてはリモートでプレゼンテーションを行っていただき、最優秀賞1点と優秀賞2点を決定しました。

受賞作品についてはデザイン手法やその表現手法は全く異なりますが、どれも「FUN」を感じるみらいの空間デザインとしてオリジナリティとクオリティを評価させていただきました。

貴重なお時間を使って作品を提案いただいたことへの感謝に加え、審査の過程において審査メンバーがこのテーマについて深く考え、真剣に議論できたことは、これからの空間デザインをつくる当社としても大変貴重なことであり、応募いただいた皆様に深く感謝申し上げます。



※審査員総評につきましては、コンペティションウェブページ (<https://www.tanseisha.co.jp/mirai-kukan/>) に掲載しています。ぜひご覧ください。

■ 本コンペについて

パンデミックをきっかけに加速するオンラインでの体験と、リアル空間での活動が制限された環境下で翻ってフォーカスされた身体的な感覚を伴うフィジカルな体験。さらにそれらを連携させるなど、「空間で楽しむ体験」の可能性は広がっています。

丹青社では、これまで培ってきたフィジカルな体験を促す空間デザインの強みを活かしたリアルおよびバーチャル空間を手がける機会が増えており、総合ディスプレイ業としてさまざまな空間を手がけてきたノウハウに加え、自由な発想をもってこそ生み出せる、今までの「空間づくり」に縛られない**新たな挑戦**を続けています。

そこで丹青社は本コンペの開催を通して、より多くの方に新たな空間創造に参画する機会を創出し、「空間づくり」の自由さ、楽しさを感じていただくとともに、これからの「空間創造のプロフェッショナル」を発掘し、応援します。

■ 丹青社について

「ここを動かす空間創造のプロフェッショナル」として、店舗などの商業空間、博物館などの文化空間、展示会などのイベント空間等、人が行き交うさまざまな社会交流空間づくりの課題解決をおこなっています。調査・企画から、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出や運営まで、空間づくりのプロセスを一貫してサポートしています。

社名 : 株式会社丹青社
所在地 : 東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 19F 〒108-8220 (本社)
設立 : 1949年10月14日
資本金 : 40億2,675万657円 (2022年1月31日現在)
上場 : 東京証券取引所プライム市場 (証券コード : 9743 / 業種名 : サービス業)
URL : <https://www.tanseisha.co.jp>

■ メディアパートナー：日本最大級のコンテスト情報サイト『登竜門』by JDN

日本から参加できるコンテスト情報を年間2,000件以上紹介しています。読者には圧倒的な情報量と最新情報が得られる場として、主催者には良質な読者が集まる情報発信の場として、両者をつなぐ存在となることを目指し運営しています。

■ 株式会社 JDN について

空間づくりのプロフェッショナルである株式会社丹青社の社内新規事業として、インターネットビジネス黎明期の1997年に立ち上げた「Japan Design Net」から現在の事業をスタートしました。以来20年以上にわたり、デザインに関する情報をインターネットメディアで発信するとともに、コンテストの企画実施を支援しています。

※ニュースリリースに掲載された内容は発表日現在のものです。
その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

●「みらいの空間デザインコンペティション」概要（※日程について一部、募集開始時から変更あり）

テーマ	FUN FUN をテーマとしたリアル空間、またはバーチャル空間、もしくは両方の空間デザイン
募集期間	2021 年 9 月 1 日（水）～ 2022 年 1 月 31 日（月）12:00
審査	1 次審査：2 月上旬予定（審査は非公開）（結果発表は 2 月中旬を予定） 最終審査：2 月上旬（結果発表は 4 月中旬を予定）
応募資格	個人、グループ、年齢、性別、職業、国籍は不問。ただし、日本語でのコミュニケーションが可能な方 1 次審査を通過された場合、12 月上旬に行われる予定の最終審査会にプレゼンテーションを作成し参加が可能な方
提出物	<必須> ●画像 ※一つのメイン画像 ※メイン画像は、作品一覧にも掲載される画像とし、最低 H1440×W810 ピクセル ※ 作品応募フォームより登録 ●動画（3 分以内、デザインのコンセプトや空間で想定される体験内容がわかるもの） ※YouTube もしくは Vimeo にアップロードし URL を作品応募フォームに登録 <任意> ●補足説明のためのプレゼンテーションシート（容量 5MB 以内） ※エントリーフォームより登録
応募方法	公式ウェブページよりエントリー、応募 ※詳しくは公式ウェブページ（ https://www.tanseisha.co.jp/mirai-kukan/ ）をご覧ください。 ※エントリー、応募前に必ず公式ウェブページ記載の注意事項等をご確認ください。
賞	最優秀賞（1 点）賞金 50 万円、優秀賞（2 点）賞金 20 万円
審査員 （敬称略）	・豊田啓介（建築家 noiz パートナー、gluon パートナー、東京大学生産技術研究所客員教授） ・秋葉哲也（アートディレクター アシュラスコープインスタレーション CEO） ・鈴木朗裕（チーフプロデューサー 株式会社丹青社 CMI センター） ・山下純（クリエイティブディレクター 株式会社丹青社 デザインセンター）
主催	株式会社丹青社
メディア パートナー	 日本最大級のコンテスト情報サイト「登竜門」 by JDN
問合せ先	みらいの空間デザインコンペティション事務局（JDN 内） mirai-kukan@japandesign.ne.jp ※対応時間 平日 10:00～16:00（土日祝を除く）

リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社丹青社

広報室 担当：石綿、寺戸

Tel：03-6455-8115 Mail：pr-staff@tanseisha.co.jpお問い合わせフォーム：<https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>